

北海道における ICT利活用セミナー

入場無料
定員120名

ICT利活用による地域活性化をメインテーマとして、マイナンバーカードの活用方策、マイキープラットフォームの検討状況、マイナンバーカードの有用性を示すとともに、地域においてイノベーションの創出が期待される戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE)の成果を紹介します。

日時

平成28年10月20日(木) 13:30~17:00
(開場13:00)

場所

ホテルポールスター札幌
(札幌市中央区北4条西6丁目)

会場のご案内

- ホテルポールスター札幌
(2階 セレナード)
札幌市中央区北4条西6丁目

※セミナー参加者の駐車場は確保しておりません。
公共交通機関をご利用ください。



お申込方法

メール: 件名を「ICT利活用セミナー参加希望」とし、下記FAX送信票の内容をお知らせください。(hok-ict@soumu.go.jp)

FAX: 以下の「FAX送信票」にご記入の上、そのままご送信ください。

(FAX番号 011-709-2482)

団体名	
参加者名 (代表者)	(連絡先電話番号: —)
参加者名	-----

※ ご提出いただいた個人情報は、受付整理及び連絡用にのみ使用し、
個人情報保護法の規定に従って適正に管理いたします。

＜ お申込み・お問い合わせ先 ＞

総務省 北海道総合通信局 情報通信部 情報通信振興課 011-709-2311(内線4717)

プログラムは裏面に・・・

主催 北海道総合通信局

共催 北海道テレコム懇談会、一般社団法人テレコムサービス協会北海道支部、
一般社団法人電子情報通信学会北海道支部

後援 北海道



総務省

ICTで進める北海道の地域活性化

Program

講師



須藤 修 氏

☆profile

東京大学大学院経済学研究科博士課程修了、経済学博士。
東京大学大学院情報学環教授
東京大学総合教育研究センター
長一般社団法人スマートテレビ連
携・地域防災等対応システム普
及高度化機構理事長 一般社団
法人放送サービス高度化推進協
会副理事長 など数多くを務めら
れています。



猿渡 知之

☆profile

熊本県出身
東京大学法学部卒業後、自治省
入省 2006年 京都府副知事。
2015年 総務省大臣官房審議官
(地方創生・地方情報セキュリティ
担当)など数多くを歴任。
マイナンバー見据え専門人材組織
化で自治体のサイバー攻撃対策
支援でも活躍。

開会 主催者挨拶 13:30 (開場 13:00)

第1部 講演 13:35~15:00

●基調講演 13:35~14:20

「マイナンバーカードの未来とICT活用策」

東京大学大学院情報学環 教授 須藤 修 氏

番号制度や情報連携分野からマイナンバーカードの未来とICT活用策について説明します。

●特別講演 14:20~15:00

「マイキープラットフォームによる地域活性化戦略」

総務省大臣官房審議官 猿渡 知之

マイキープラットフォームとICTを活用した、様々な事例 を交えて説明します。

第2部 事例紹介 15:10~16:40

●事例紹介1 15:10~15:40

「マイナンバーカードによる独自サービス」

新潟県三条市

総務部情報管理課長 山澤 浩幸 氏

●事例紹介2 15:40~16:10

「ICT漁業の縦展開と横展開」

公立はこだて未来大学 教授 マリンIT・ラボ 所長 和田 雅昭 氏
(H26-28 SCOPE 地域ICT振興型研究開発 研究代表者)

●事例紹介3 16:10~16:40

「ICTを基盤にした地域健康ネットワーク～江別モデル～」

北海道情報大学 教授 健康情報科学研究センター長 西平 順 氏
(H26-28 SCOPE 地域ICT振興型研究開発 研究代表者)

閉会 名刺・情報交換会 16:40~17:00

事例紹介者



1984年新潟県三条市入
庁農林課配属 1989年
情報管理課配属 2011
年現職 情報管理課長
新潟県市町村情報シス
テム最適化研究会代表
幹事。自治体クラウドの
円滑なデータ移行等に
関する研究会委員。マイナンバーカードを
活用した、窓口支援サービス、図書資料の
貸出しサービス、選挙投票入場受付、避難
所の入退所受付、証明書コンビニ交付サ
ービスなどの独自サービスの検討経緯、市民
サービスの拡充という目的を実現するた
めの事例と展望について紹介します。

新潟県三条市総務部情報管理課長
山澤 浩幸 氏



1993年株式会社東和電
機製作所入社 世界シェ
アNO1となった自動イカ
釣り機の開発に携わる。
2004年北海道大学学
院水産科学研究科修了
2005年公立はこだて未
来大学着任 2012年公
立はこだて未来大学マリンIT・ラボ所長 海
洋環境と水産資源の見える化、資源管理
による持続可能な水産業など、SCOPE研
究開発「漁船排出CO2の削減を目的とした
ICTを活用した定置網漁支援に関する研究
開発」を含め、地域情報化大賞2015で大
賞・総務大臣賞を受賞したICT漁業の事例
と展望について紹介します。

公立はこだて未来大学 教授
和田 雅昭 氏



北海道大学大学院医学
研究科助教授を経て
2006年現職。2011年健
康情報科学研究セン
ター長 文部科学省知
的クラスター創成事業
「さっぽろバイオクラ
スター”Bio-S”」に参画、地
域住民参加型の食品臨床試験システム「江
別モデル」をつくる。これによりイノベーシ
ョンネットアワード2016 文部科学大臣賞受賞。
「江別モデル」と、人工知能による病気予防
と健康アドバイスを可能とするSCOPE研究
開発「食と健康のライフイノベーションを
実現するためのレコメンドシステム」について
紹介します。

北海道情報大学 教授
西平 順 氏